



夏本番！今回は、夏休みスペシャルイベント開催のご報告をはじめ、暑くてもクールに乗り越えたいPost-CC OSCE、コア・カリ改訂と、夏満載でお届けします！



◆希望に溢満ちた医師のたまごたち◆

夏休みに入り、小中高生たちも夏の思い出作りに大忙しです。医学教育講座では、例年行っている中高生を対象とした山口県医師会主催の「医師職業体験」に加え、本年は小中学生への「夏休みジュニア科学教室」も開催しました。参加した小中高生たちの目は皆輝いており、この中から将来、立派な医師が数多く出てくると、期待が膨らみました。

将来のドクター養成に向けた中高生の職業体験

8月6日(日)、宇部市の興産ビルにて医師職業体験が行われました。これは、県内の中高生に医師の職業を体験してもらう企画で、平成29年に山口県医学会第100回を記念して行われたのが発端となり、以降好評につき毎年実施してきました。例年、臨床実習を終え、基本的な診療技能を身につけた**医学科の学生さん(Student Doctor)**にも手伝ってもらっています。今回は、医学生12名を含む、医師会役員、医学教育学講座教員等、総勢20余名が指導に当たりました。参加したのは医療に興味があり、抽選で当選した県内の中高生44名。苦戦しながらも楽しみつつ、憧れのお医者さんの仕事を体験しました。その他、現役の医学生が、**医師を志すことの魅力について熱く語るコーナー**もあり、会場は大いに盛り上がりました。参加者からは、「とても楽しかった」「もっと体験したい」と好評で、**中でも医学生とお話できたことが新鮮で有意義だったという回答が多く寄せられました。**



「心肺蘇生」



「血圧測定」



「採血」



「縫合・結紮」



「医学生への質問と
山大病院紹介」

夏休みジュニア科学教室 in 医学教育学講座

こちらはより低学年の、小学校5年生～中学校2年生までを対象としており、**科学の面白さを知ってもらうための教室**を開催するものです。県内の大学や高専、企業などがやまぐち産業振興財団に協力する形で実施しています。本年度は山口大学医学部での開催を医学教育学講座が担当することとなり、参加者に「**血圧測定**」、「**酸素飽和度測定**」、「**採血**」といった基本的な手技を体験してもらいながら、それらの**検査・手技がどういう原理で行われているかという科学的な根拠**も理解してもらえよう、工夫を凝らしました。



正式導入から4年～Post-CC OSCE～

Post-CC OSCEは令和2年度から共用試験として正式に導入された、臨床実習後の6年生が受験する実技試験で、初期研修開始前の臨床能力担保を目的としています。本年度は7月15日(土)に実施しました。正式導入から4年目となり、学生らの間にも本試験の実施や意義が浸透してきた感があります。

本試験の肝は、鑑別疾患を考えながら医療面接や身体診察を適切に行うことです。さらに指導医への報告や、本学では診療録の記載といった能力も問われ、臨床実習で培った力を試す場とも言えます。実際の試験会場は厳粛な雰囲気、緊張してしまうものですが、「診断のための診察」をきちんと行える学生の姿は、大変頼もしく見えました。



シン・コア・カリ！

医学教育モデル・コア・カリキュラム(コア・カリ)が、令和4年11月に6年ぶりに改訂されました。6月13日(火)、改訂版コア・カリに関する学内説明会を医学科FD企画として開催しましたので、その一部をご紹介します。

「コア・カリ」とは、文部科学省が公表する教育指針で、医学生が卒業時まで身に付けておくべき必須の実践的診療能力(知識・技能・態度)について、学修目標を定めたものです。医学部のカリキュラムは、各大学の特色ある独自のカリキュラムと、このコア・カリに沿って実施するカリキュラムから構成されています。

改訂版の新コア・カリでは、「未来の社会や地域を見据え、多様な場や人をつなぎ活躍できる医療人の養成」というキャッチフレーズを掲げていますが、医師として求められる基本的な資質・能力についても、これに呼応するように「総合的に患者・生活者を見る姿勢」、「情報・科学技術を活かす能力」といった項目が新たに追加されています。その他、改訂の骨子はいくつかありますが、実際にカリキュラム編成や内容に変更が生じ得るものとして、「診療参加型臨床実習の促進」があります。共用試験の公的化に伴う医学生による医業の法的位置づけを踏まえ、今後の診療参加型臨床実習に求められるレベルはより高くなると思われま。

新コア・カリの運用は令和6年4月からで、令和5年度は学内での準備期間にあたります。本年度行う具体的な実務として、「既存のコア・カリ項目から新たなコア・カリ項目への番号移行」及び「新たに追加となったコア・カリ項目に対応した学習内容の見直し」があり、いずれも電子シラバスeYUMEへ反映させる必要があります。

教員の皆さまにおかれましては、診療参加型臨床実習の見直しやシラバス作成時の変更などで、ご協力をお願いすることがあるかと存じますので、よろしくお願い申し上げます。



※今回の学内説明会の動画はeYUMEの『動画配信(教員専用)』からいつでも視聴可能です(学内からのアクセスに限ります)。これまでのFD動画も同サイトに掲載しておりますので、この機会に教員の皆さま、是非ご視聴下さい。★eYUMEホームページ→ <https://eyume.med.yamaguchi-u.ac.jp/2022/>



ご意見・ご要望等につきましては、医学教育センターへ
お願いします。 TEL: 0836-85-3747

E-mail: mec01@yamaguchi-u.ac.jp